

旧村川別荘だより



平成31年4月19日発行
 旧村川別荘市民ガイド事務局
 我孫子市教育委員会 文化・スポーツ課
 歴史文化財担当：斉藤、海老原、手嶋、今野
 〒270-1166
 我孫子市我孫子1684番地
 TEL:04-7185-1583（直通）
 E-mail:abk_bunka@city.abiko.chiba.jp

4月の月例会が開催されました

4月と5月のシフトの確認を行いました。
 今年度は、木村、田中と二人の異動があり、新しく斉藤と海老原が加わりました。よろしくお願ひします(*^-^*)

「カメラからのぞいた風景」展

年度初めの月例会はスペシャルゲスト村川夏子さんを招いて4月27日（土）からはじまる「カメラからのぞいた風景」展の展示解説をお願いしました。

夏子さんのお家にはお父様の正二さんが撮影した写真がたくさんあるそうです。その中から選りすぐりの作品をお借りしてきました。今回展示している作品は、以前に雑司が谷のお家が一般公開されたときに展示した内容になっています。

正二さんはカメラが好きで、当時は家を買えるほどの値段で売っていたカメラを数台持っていました（そのうちの一台「ツァイス・イコンタ」は初給料で買ったそうです）。ただそれは、目的に応じてカメラを使い分けていることから、「単なる趣味」でなかったことがわかります。また、正二さんは手帳に備忘録を事細かに残していること、アルバムで写真を整理していることから、その写真はとて資料価値が高いことがわかります。

たとえば、現像や引き伸ばしはご自分で自宅を使って行っていたことが備忘録によってわかりますし、堅固さんが日記には書いていない堅固さんの日常を備忘録から読み解くことができます。このお話を聞いて、お家に暗室があったのかと驚きましたが、どうやら光が入らなければ現像ができるようで、流しなどを使って現像されていたようですが、どこで現像されていたかは特定できないそうです。

正二さんの生涯については、当日お配りした資料をご参照していただくこととして、その生涯には当たり前ながら、社会的背景の影響がありまし

た。例えば、正二さんが建設にかかわった新丸の内ビルディングは、幻の東京オリンピックを目指して建てられたものでしたが、日華事変の影響で杭を打ったものの、工事が中断してしまいました。オリンピックによる建設ラッシュ。歴史は繰り返されているようです。

それでは、いくつかのテーマに分けられた写真を見ていきましょう。

① 村川家の人びと

このコーナーだけが正二さんが撮った写真ではありません。記念写真（この写真が一番若い正二さんが写っているものです）、堅固さんが撮った写真、同僚に撮ってもらった写真、使ったカメラを貼っていたアルバムの表紙を写した写真、正二さんがかかわった仕事の写真が並びます。待乳山聖天堂で有名な大根の絵は、正二さんがデザインしたので、そのスケッチが村川家にあるそうです。

② 雑司が谷の風景

目白台にある村川さんのお宅の様子です。もみじの写真がありますが、夏子さんが「紅葉は日本家屋にとっても合っていて、夏は葉っぱが日差しを遮り、秋に落葉するので、冬は部屋の奥まで日差しが入る」とおっしゃられていたのが、印象的でした。旧村川別荘の母屋と新館にも紅葉があり、雑司が谷のお家の考えと共通していると思いました。また、門脇の欒は江戸時代から並木としてあったようですが、大正時代にほぼ切られてしまい、村川さんのお宅に2本残るのみだったようです。そのうち一本はいまも健在です！



③ 我孫子の風景

当時の人びとはなかなか写真を撮る機会がありませんでした。機会と言えば、家族の記念写真だったようです。ですので、日常的な風景が撮影することはまれでした。特に場所が我孫子となると、なかなか撮影されることは少なかったため、正二さんが撮影したこれらの写真は、当時の我孫子を知るうえで、とても貴重な資料になります。

④ 鵜沼の風景

村川さんは鵜沼にも別荘を持っていました。「園主」が撮影された年は昭和16（1941）年。時代は太平洋戦争に向けて動いているところです。そこで、堅太郎さんは園芸を楽しんでいた温室を食糧生産に切り替えました。また、シクラメンの写真がありますが、こちらは個人的にカッコいい写真と気に入っています。いまは冬になると町の彩を豊かにしてくれるシクラメンですが、当時高価なお花だったことに驚きました。また、鵜沼の海水プールは湘南地域の学童の体位向上と水難事故防止を目的に作られたものですが、戦後は海水汚染のために海で泳ぐよりも安全な海水浴場であったようです。平成12（2000）年に閉鎖されました。



⑤ 丸の内の風景

正二さんの職場の近くであった丸の内の風景写真がまとめられて



います。街を歩くと映画の撮影でしょうか？お洒落な建物を前にカメラが何台もたっています。また、東京駅の写真もあります。周りに何も高い建物がないのがいまと違いますが、駅の趣自体は変わっていません。

⑥ 深川の風景

深川の風景では、同じ場所を撮影している写真が連続してあります。これは、望遠レンズでどのように撮影できるのか研究している写真であることがわかります。

⑦ 街の風景

「都会ノ秋」では、たくさんの果物が並んでいます。千足屋あたりか？と夏子さんは予想していますが、それは、正二さんの備忘録を見ると、「田中先生にメロンを贈った」と書かれているという背景からお店の名前が導きだされたそうです。また、「居留地ノ岡」は現在の港が見える丘公園を撮影した写真です。「門前風景」は雑司が谷のお宅の近くにある護国寺を背にして音羽通りを撮影したものです。当時は都電が走っていて、この写真には写っていませんが、都電の切り替えポイントに作業する人のための塔が建っていたそうです。

連絡事項

我孫子ゴルフ倶楽部で観桜会が行われ、今年も大盛況だったようです。旧村川別荘ボランティアガイドさんからもお手伝いに参加されたり、見学にお越しいただいたりされたかたもいらっしゃいました。

今年も5月11日（土）～6月9日（日）まで「我孫子アートな散歩市」が開催されます。旧村川別荘の母屋も会場となりますが、新館は「カメラがのぞいた風景」展を開催しているため、通常どおりの開館となります。よろしく願い申し上げます。

写真展とともに村川堅固さんと堅太郎さんの著書を展示しています。どなたでもお手に取って内容を見ることがができますので、その場でお楽しみいただければと思います。また、雑司が谷のお家について紹介している本も展示していますので、併せてご覧ください。

今年のゴールデンウィークは、ガイドさんは5月1日（水）、2日（木）がお休みとなります（旧村川別荘は開館しています）。また、シルバーさんが連休の都合で7日（火）、8日（水）がお休みなため、旧村川別荘も閉館します。

また、連休中は旧井上家住宅で5月1日～5日まで五月飾りと人形展、4日、5日と鉄道模型の運転会を行っています。ご都合が良ければ、お越しください（*^-^*）

次回は・・・

令和元年5月9日（木）午前9時半
から旧村川別荘新館にて月例会を行います。
次の月例会は「令和」になっているのですね。
新しい年もよろしく願いします！